

Bridge

Vol.19

KINJO GAKUIN UNIVERSITY Parents' Association Report
金城学院大学 父母会会報 [ブリッジ19号] 2023.7

Interview

「強く、優しく。」を實踐できる

女性を育むために

金城学院大学 丸山 智美 副学長



「強く、優しく。」を實踐できる

女性を育むために

金城学院大学丸山 智美 副学長



金城学院大学が掲げる教育スローガン「強く、優しく。」。

その想いは、学内のみならず広く一般社会へも向けられ、

「女性の全人教育」への取り組みは日々強化・拡大しています。

金城生たちが、自分らしい人生を描き、実現できるように、

大学はこれからのように歩んでいくべきか、

女性みらい研究センターのセンター長であり、

2023年4月に金城学院大学副学長に就任した

丸山智美教授にお話を伺いました。

副学長に就任された今のお気持ちや
抱負をお聞かせください。

私が教鞭を執ってきた生活環境学部
食環境栄養学科は、4年間の研究学修の
成果として国家資格（管理栄養士）の
取得を目標とした実学の分野です。食や
栄養という専門的な実学教育に携わって
きた私が、大学運営にどのように関わる
ことができるのか、何をすべきなのか、
重責を感じながら出したひとつの答えと
して、「実学的な視点で、学生たちへ出
口を見せる。卒業後の道をわかりやすく
提示する」ことが自分に与えられた役割
である、と考えました。

本学には、学生生活や進路について
先生が親身にサポートするアドバイザー
制度や、就職活動の心強いパートナーと
なるキャリア支援センターがあり、学生
たちのキャリア形成を幅広く支える環境
がすでに整備されています。加えて、本学
の長い歴史の中で巣立っていった、大勢

の卒業生の存在があります。先輩たちの
様々な生き方は、在学生の身近なロール
モデルになります。先輩が本学で何を
学び、社会のどの分野でどのようなスキル
を發揮しているのか。逆に先輩は、もって
勉強しておけばよかったと思っ
ていることは何か。そういったリアルな声を
聞いたり質問したりしながら、学生たちが
自分の将来を、より具体的にイメージ
できるよう、先輩との交流の場を増やし
ていこうと考えています。

学外に対しては、本学の教育環境の
素晴らしさとともに、金城生の積極性や
能力の高さを、もってアピールしていき
たいと考えています。

本学は伝統があり、一定のブランド
イメージもできあがっていますが、学外
からは見えにくい部分はまだあります。
たとえば教育に携わる人的資源について、
科学研究費助成事業（文部科学省）の採
択率をみても、先生方の研究レベルが
高いことがわかります。また、薬学部の

屋根瓦方式（※1）や国際情報学部のWLI
（※2）など、指導の手厚さや主体性と
リーダーシップを養う学内外連携プロ
ジェクトの豊富さなど、本学の教育のシス
テムと質は突出しています。他にも、食
環境栄養学科の調理学実習ではノリタケ
の食器を使用するなど、本物や一流品に



※1. 屋根瓦方式

1年生が2年生の指導を受けながら、問題解決型の授業に取り組む学修スタイルのこと。1年生は先輩のサポートにより理解が深まり、2年生は知識の定着と、指導力を養うことができます。屋根瓦が少しずつ重なり合うことで強度が増すように、上級生と下級生が互いに学び合って確かなスキルを身に付けていきます。

※2. WLI (Women's Leadership Initiative)

誰もが様々な場面や課題に応じて発揮できる「協調型リーダーシップ」を養うプログラム。2年次以降は、講演会の企画・運営、自治体や企業から与えられた課題について調べ、深め、提案。商品開発や市民向け講座の開講など、学内外と連携したプロジェクトを通じて実践力を身に付けます。

※3. 金城学院 公式note-Kinjo Knowledge

2022年秋に開設した情報サイト。130余年におよぶ金城ならではの女子教育の豊富な資源を中心に、金城学院に関連するニュース、社会で活躍する卒業生、キャリア・子育て・健康など、女性がライフステージの中で遭遇する悩みを解決する様々な情報を発信しています。



触れる機会を設けて学生の感性や審美眼
も養っています。ただ「教育の質が高い」
「恵まれた環境です」というだけではなく、
もう一歩踏み込んだ具体的な情報を発信
する必要があります。本学の強みや魅力、
優れた教育制度、学生たちの意欲や活躍
ぶりなどをもっと顕在化させ、本学への
理解や、さらなる興味へとつなげていき
たいと思います。

その一環として、昨秋にWebサイト
「金城学院公式note-Kinjo Knowledge」
（※3）を開設しており、これからもホーム
ページやSNSなどを活用した情報発信
に注力していきます。

これまで20年近く金城生と
接してこれら、学生の変化について
どのように感じていますか。

まず、ずっと変わっていないと感じて
いる点は、金城生は皆さん、強く、優しく、
思いやりがあるということです。私の担当
学科でいうと、管理栄養士の国家試験
合格に向けて、お互いに励まし合ったり

助け合ったりしている姿は昔から変わら
ず、「ともに学ぼう」という姿勢の学生が
多いことに感心しています。本学の教育
スローガン「強く、優しく。」を学生全員
が理解し、実践しているのです。社会で
活躍するためには、学生一人ひとりが
持っている内なる強さを知識や技能に
よってさらに磨き、真の強さを身に付け
ることが大切です。それと同時に他人を
いたわり思いやる心、つまり優しさは、
社会の中で生きていくためにも自分
の暮らしにおいても不可欠な力です。
日本が迎えている少子高齢社会では、
女性の社会進出に対するニーズは今後
ますます高まっています。これからも
「強く、優しく。」を實踐できる学生を
育てていけるように、教育力を日々磨い
ていきます。

それともうひとつ、積極的に行動力の
ある学生が多いことも昔から変わって
いません。他学部の学生が「私たちのプロ
ジェクトに、管理栄養士の先生に協力し
てほしい」と、私の研究室を訪ねてきたり、
「産学協同プロジェクトのPR活動の
ために一緒に献立を開発しませんか」と、
国際情報学部の学生が企画書を持ってきた
こともあります。また、食環境栄養学科
の学生が、レシピ集を出すために環境
デザイン学科の学生にイラストやデザイン
を依頼したりなど、学部学科の垣根を
越えて活発に活動しています。

このように、学部や学科を超えて横断
的に活動ができることも本学の強みと
なっています。

一方、変わったなと思う点は、学生間

のコミュニケーションスタイルでしょうか
たとえば、ゼミ長にゼミ生たちへ情報
共有をお願いしたとき、目の前にゼミ生が
いても直接声がけをせず、LINEを送っ
て連絡を済ませてしまうことがあります。
また、コロナ禍のリモート授業では、
発言者以外の学生は黙っていて、学生同士
が活発に意見を交わすことが少なくなっ
たように感じます。オンラインの弊害も
あるのですが、互いに尊重しながら
対話する、意見を交わす、議論する、的確
に指示を出す、という基本的なコミュニ
ケーションスキルを身に付けてもらえる
ように指導していきたいと思っています。

「女性みらい研究センター」の
センター長も務めていらっしゃいますが、
センターの活動についてお聞かせください。

「女性みらい研究センター」は、キャリア
形成・子育て・健康など、女性がライフ
コースの中で遭遇する主要なテーマに
ついて、「研究」「学び」「相談」の3本柱
で女性のリカレント教育を展開する組織
です。本学の研究成果を社会へ還元する
取り組みの一環でもあり、人生100年
時代を見据えた女性の人生設計と、それを
実現するための学び直しや思い出し、心
と体の健康を支える講座や相談会を開催
しています。私も運営委員の一人として
立ち上げ（2018年4月開設）から参加
しており、今に至ります。

これまでご利用いただいた方は、専業
主婦、子育てを機に離職して再就職を
考えている方、会社員、管理職、起業家、

キャリア支援センターの特徴・強み

キャリア支援センターが実施する就職支援プログラムは、2年次に開催する就職プレガイダンスから本格的にスタート。前年度の就職状況の実態や今年度の分析、履歴書の書き方、業界・企業研究、グループディスカッション、面接指導など、きめ細やかなサポート体制を整えています。また、本学のキャリアサポートの特徴は個別指導が充実していることです。最後まで学生一人ひとりに寄り添いサポートします。

Point
1

2年生後期

就職活動と聞いて「何をすれば良いのか」具体的にイメージすることは難しい時期です。就職プレガイダンスでは、就職活動の流れや今後開催されるガイダンス、インターンシップ、長期休暇の過ごし方について伝えます。これから本格化する就活準備で、具体的に「どう行動していけば良いのか」を考えていきます。

Point
2

3年生(5年生)前期

就職活動のスケジュールや業界研究の進め方、スーツの着こなし講座など就職活動の基礎・基本を伝えるガイダンスを実施しています。また自己分析講座やインターンシップ参加に向けた対策講座を行う事で、「自身のキャリアビジョン」について一緒に考えていきます。

Point
3

3年生(5年生)後期

エントリーシート作成講座や面接対策講座など実践練習を意識したガイダンスを数多く実施しています。1DAY就活全部体験講座では会社説明会から面接試験まで、就職活動の本番さながらの流れを1日で模擬体験できます。エントリーシートの添削やグループディスカッション、集団面接について、講師から個別フィードバックが受けられます。これまでに培ったマナーなどの知識をアウトプットする場でもあり、実践力が養われます。

Point
4

就職活動直前期

業界研究セミナーや学内合同企業セミナーなど、企業の人事担当者から業界の担う使命や課題、仕事のやりがいについてお話しを伺います。ナビ会社の説明では一般的な話になりがち。「金城生のため」にOGから直接、女性社員の1日のスケジュールや実際の働き方について講演をしていただきます。

Point
5

就職活動本番

3月1日を過ぎると採用情報が解禁されるのと同時に選考が本格化していきます。個別の相談や添削、面接練習に対応するべく最大17名のスタッフを動員し、学生一人ひとりに寄り添った丁寧な支援を行っています。また面談ごとに記録を残し情報を共有することで、チーム一丸となった就職支援を行っています。

キャリア支援センターの取り組みや就職実績など詳細については
下記URLまたはQRコードより『親子就活のススメ』をご覧ください。
[https://www.kinjo-u.ac.jp/
document/syukatsu-guardian_2023.pdf](https://www.kinjo-u.ac.jp/document/syukatsu-guardian_2023.pdf)



キャリア・アップ講座について

ライセンススクールなどの講師の講義や指導が格安で受講できる資格取得・採用試験対策講座。学内で受講する講座だけでなく、自宅からいつでも受講できるオンライン講座も多数揃えています。

「この講座を受ければ合格間違いなし!」

と学生の間で評判の講座もあるほどです。

公務員	教養試験対策[基礎][完成] 保育専門科目対策
教員	採用試験対策[教養試験][小学校全科] 採用模擬試験(2科目/3科目)
外国語スキル	はじめてのTOEIC L&Rコース TOEIC L&R 600点コース TOEIC L&R 730点突破コース
資格	秘書検定[2級][準1級] MOS検定 簿記検定[3級][2級] 宅建 通関士 貿易実務C級 FP3級 ITパスポート Webクリエイター能力認定 基本情報技術者 国内旅行業務取扱管理者

※講座により学内、自宅、学外など受講方法が異なります

詳細はURLまたは
QRコードよりご覧ください

[https://www.kinjo-u.ac.jp/
careerup/](https://www.kinjo-u.ac.jp/careerup/)



合格奨励金制度

キャリア・アップ講座を受講して、採用試験や資格試験に合格した方を対象に、奨励金をお渡しします(非常勤・委託・契約の合格を除く)。自己申告制で、合格から3か月以内の申請が必要です。

※合格奨励金対象講座はHPよりご確認ください

丸山 智美(まるやま さとみ) プロフィール

- ◆学位/博士(学術)
- ◆専門分野/給食経営管理論(学校給食の管理、産業給食を活用した健康教育)、加齢栄養学(更年期世代女性の栄養、思春期の栄養、食生活由来の栄養への影響など)
- ◆所属学会/日本栄養改善学会、日本女性医学学会、更年期と女性のヘルスケア学会
- ◆資格/管理栄養士
- ◆経歴/2005年度に金城学院大学 生活環境学部 食環境栄養学科に着任。2011年度から同大学院の教授を兼務。その他、学長補佐(2015年度~2017年度)、生活環境学部長(2018年度~2021年度)、女性みらい研究センターセンター長(2021年度~)を務め、2023年4月、金城学院大学副学長に就任。



在学生の学びにも関わってくるのでしょうか。

本センターが実施するプログラムや活動に、学生が参加できる機会を増やしていくと考えています。社会に出た年代も立場も違う様々な女性と直接関わり、「なぜ学び直すのか」「どのような悩みや課題があるのか」などのリアルな声を聞くことで、卒業後、自分にどのような壁が待っているのかを知ることができそうです。それにより大学で何故学ぶのか、何を学ぶのかをより深く理解し、学生自身の目標や目的が明確になるでしょう。より一層、熱を入れて研究学修に取り組んでもらえるのではと期待しています。

丸山副学長ご自身も、学び直しや学び重ねに意欲的に取り組んでこられたそうですね。

若い頃に描いていた私自身の人生のイメージは、料理、裁縫、家計の管理、子育てなど、すべて自分でできる妻や母に

なることでした。それが私にとっての幸せだと思っていました。そのため、短大で栄養士の資格を取り、同時に夜間の服飾専門学校にも通っていました。その甲斐あって、ウェディングドレスは自分で作りました。保育も学びたかったのですが、さすがに時間がなくて断念しました。短大卒業後は4年間就職していましたが、子どもができたら絵本を厳選して読み聞かせたり、成長に合わせて一緒に文学や文化的な話がしたくて、1年間猛勉強の末、文学部国文学専攻に入学しました。その時すでに結婚しており在学中に産院を5年で卒業後、栄養士として病院や行政で働き、3年間の実務経験を経て管理栄養士の資格を取りました。その後、食や栄養に携わってきたこれまでの経験をまとめてみようと思いを決し、昭和女子大学大学院生活科学研究専攻へ進学。日本医科大学の医局に籍を置いて研究学修に取り組み、博士号(博士<学術>)を取得しました。

私自身、就職、結婚、出産、パートナーの転勤に伴う転居や転職、子どもの独り立ち、親の介護など、人生の節目節目で悩んだり学び直しを考えたり、新しいことにチャレンジしてきました。私の場合、その都度、人との出会いやタイミングに恵まれ、学び直しの機会を得ることができ、自分の想いを形にできました。ですから、そのような人生の転機には、ぜひ、女性みらい研究センターを利用していただきたいと思います。それぞれが描く幸せな人生やキャリア形成を実現するために、

最後に、保護者の皆様へのメッセージをお願いします。

すべての教職員が、大切なお子様をお預かりしていることへの責任を常に強く感じています。卒業を迎えるとき、「金城学院大学で学ぶことができて本当に良かった」と感じてもらえるように、指導や支援に取り組んでいます。私自身も、どうしたら学生が興味を持ち、主体的に学んでもらえるかを常に考えていますが、時には厳しい態度で指導することもあります。国家資格取得という目標を達成するため、勉強時間が足りない学生を叱る時はかなり厳しく、一部では怖い先生と思われるかもしれません。しかしそれは、学生の将来のためを思っていることで、彼女たちの尊厳を傷つけないように十分配慮したうえで叱咤激励しています。

学生のキャリア形成やそれぞれの想いの実現には、大学と保護者との共同作業が欠かせません。お子様の成長を保護者の皆様と一緒に支え、「強く、優しく。」を実践できる女性を育てたいと思います。今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。

MESSAGE

学生の自発的な「就業観」を醸成します

金城学院大学
キャリア支援センター

昨今の就職活動における環境は、コロナ禍の影響もあり年々変化しています。選考のハイブリッド化、就活の早期化、インターンシップの取扱い変更など、様々な不安を感じているご父母の方や学生もいらっしゃると思います。希望した会社に入ることが就職活動のゴールでは決してありません。入社はいくらでもスタート。私たちキャリア支援センターではこのような考えのもと、入社後の活躍や生き方まで見据えた支援に取り組んでいます。

キャリア支援センターの特色は「就業観」の醸成を重視していること。社会人として働いていくうえで、どのような心構えが求められるか。それを私たちから一方的に教えるのではなく、学生自ら考え、気づくことが何より重要であると考えています。だからこそ私たちは学生一人ひとりに寄り添い、対話を重視した個別支援を徹底しております。今後も引き続き、エントリーシートの添削指導、面接練習等は、対面とオンラインで対応してまいります。学内での就活イベントにおいても適切な時期に適切な情報が学生へ届くように運営を行っております。対面とオンラインの両面による支援の充実をより一層図り、学生それぞれの置かれた状況にしっかりと向き合い、寄り添うことで自ら就業観を育むことのできる支援を実施しています。

単位:円

収入の部	2022年度収支決算			2023年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2023年予算額	2022年予算額	増減
前年度繰越金	46,320,054	46,320,054	0	49,177,609	46,320,054	2,857,555
入会金 7,000円	8,708,000	8,729,000	△21,000	7,994,000	8,729,000	△735,000
会費 12,000円	58,218,000	59,856,000	△1,638,000	58,848,000	59,856,000	△1,008,000
雑収入 預金利息	972	100,000	△99,028	100,000	100,000	0
合計	113,247,026	115,005,054	△1,758,028	116,119,609	115,005,054	1,114,555

単位:円

支出の部	2022年度収支決算			2023年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2023年予算額	2022年予算額	増減
学生教育助成費	3,529,296	4,800,000	△1,270,704	4,800,000	4,800,000	0
学生キャリア教育助成費	15,000,000	15,000,000	0	15,000,000	15,000,000	0
学生活動助成費	7,869,220	11,503,200	△3,633,980	11,885,600	11,503,200	382,400
学生指導助成費	1,309,596	2,992,800	△1,683,204	2,942,400	2,992,800	△50,400
教育研究助成費	14,932,356	16,105,000	△1,172,644	16,630,000	16,105,000	525,000
教員研修助成費	1,791,080	4,650,000	△2,858,920	4,282,000	4,650,000	△368,000
事務研修助成費	1,600,000	1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0
地区別懇談会助成費	0	0	0	4,000,000	0	4,000,000
卒業記念事業費	4,000,000	4,000,000	0	4,000,000	4,000,000	0
環境整備助成費	5,000,000	5,000,000	0	7,000,000	5,000,000	2,000,000
父母会活動費	6,027,089	8,900,000	△2,872,911	8,840,000	8,900,000	△60,000
学生施設建設助成積立金	2,000,000	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	0
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
雑費	10,780	1,000,000	△989,220	1,000,000	1,000,000	0
予備費	0	36,454,054	△36,454,054	31,139,609	36,454,054	△5,314,445
次年度繰越金	49,177,609	—	49,177,609	—	—	—
合計	113,247,026	115,005,054	△1,758,028	116,119,609	115,005,054	1,114,555

単位:円

特別会計の部	組入額合計
	周年事業積立金
学生施設建設助成積立金	22,000,000

2022年度 父母会卒業記念品

キャリアカウンセリングルームに テーブルセットと複合機を寄贈

本部棟4階のキャリアカウンセリングルーム(1~4)にテーブル12台、椅子24脚、衝立8台、複合機1台を寄贈しました。対面やZoomでのカウンセリングから模擬面接など、学生のキャリア構築にきめ細かく対応できるよう設備が整いました。



総会報告

去る2023年6月7日(水)大学にて父母会総会が開催され、
2022年度の事業報告・決算、2023年度の事業計画・予算などが承認されました。

2022年度事業報告		2023年度事業計画
2022年4月1日(金) キリスト教教育について 教育方針等について 学生生活について 大学父母会の活動について	コロナウイルスの影響により中止	2023年4月1日(土) キリスト教教育について 教育方針等について 学生生活について 大学父母会の活動について
2022年5月20日(金) 役員会 1 総会審議事項の確認 ① 2021年度事業報告 ② 2021年度会計報告 ③ 2022年度役員・委員候補者 ④ 2022年度事業計画 ⑤ 2022年度予算 2 教育懇談 ----- 新旧役員及び大学役職者の歓送迎会	コロナウイルスの影響により書面議決 コロナウイルスの影響により中止	2023年5月22日(月) 役員会 1 総会審議事項の確認 ① 2022年度事業報告 ② 2022年度会計報告 ③ 父母会会則の一部変更について ④ 2023年度役員・委員候補者 ⑤ 2023年度事業計画 ⑥ 2023年度予算 2 教育懇談 ----- 新旧役員及び大学役職者の歓送迎会
2022年6月1日(水) 定期総会 ① 2021年度事業報告 ② 2021年度会計報告 ③ 2022年度役員・委員候補者 ④ 2022年度事業計画 ⑤ 2022年度予算 全体説明会 ① 大学の現状報告 ② 就職状況について	コロナウイルスの影響により書面議決	2023年6月7日(水) 定期総会 ① 2022年度事業報告 ② 2022年度会計報告 ③ 父母会会則の一部変更について ④ 2023年度役員・委員候補者 ⑤ 2023年度事業計画 ⑥ 2023年度予算 全体説明会 ① 大学の現状報告 ② 就職状況について ③ 保証人ポータルサイトについて
金 沢/2022年8月20日(土) 岐 阜/2022年8月27日(土) 四日市/2022年9月 3日(土) 浜 松/2022年9月10日(土) 大学の教育方針・近況等説明 学生生活上の説明 個別懇談(成績関係、就職関係、その他)	コロナウイルスの影響により中止	四日市/2023年9月1日(金) 金 沢/2023年9月4日(月) 岐 阜/2023年9月8日(金) 浜 松/2023年9月12日(火) 大学の教育方針・近況等説明 学生生活上の説明 個別懇談(成績関係、就職関係、その他)
2022年10月27日(木) 講演会 父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会	コロナウイルスの影響により中止	2023年11月6日(月) 父母会役員・大学役職者とクラス委員との定期懇談会 大学の近況報告 父母会活動について 講演会 教育懇談
2022年12月1日(木) 大学の近況報告 父母会活動について 教育懇談		2023年11月6日(月) 講演会 教育懇談
2023年2月17日(金) 今年度父母会活動の総括 卒業記念品について 教育懇談	コロナウイルスの影響により中止	2024年2月8日(木) 今年度父母会活動の総括 卒業記念品について 次年度日程について 教育懇談
2023年3月17日(金)、18日(土) 次年度日程について	コロナウイルスの影響により中止	

保証人ポータルサイト

K-PORT

利用開始のお知らせ

保証人の皆さまがご息女の授業時間割や成績、大学からのお知らせを確認することができるポータルサイトです。学生向けのポータルサイトと同じ名称(K-PORT)ですが、学生と保証人で確認できる事項が異なります。重要なお知らせを発信しておりますので、定期的にご確認ください。

アクセス方法
「金城学院大学 K-PORT」と検索してください

または右のQRコードをご利用ください。



ログイン方法
IDとパスワードを入力してください

IDと仮パスワードを記載した葉書を送付済みです。お受け取りになった葉書はご息女が卒業されるまで大切に保管してください。

金城学院大学父母会 会長 西脇 正導

昨年度より引き続き父母会会長を務めさせていただきます西脇正導と申します。

父母会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。日頃は父母会の活動に深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

この度、大学の取り組みや父母会活動についてご報告させていただく父母会会報誌「Bridge」第19号が完成しましたのでお届けいたします。

今年度の定期総会は、大学キャンパス内アニー・ランドルフ記念講堂において、4年ぶりに対面にて開催することができました。総会では別頁に掲載しております議案につきまして、すべて原案通りご承認いただきました。ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

総会後は大学より全体説明会を開催していただき、学内における様々な教育研究活動や学生の学修状況、課外活動や就職活動状況について説明していただきました。さらに、希望された会員の皆様は、会場を移動し学科ごとに分かれて、先生方と親しく懇談する機会が与えられ、大変有意義な時間を持つことができました。今後も父母会として大学の教育研究活動及び学生生活の充実を図るために支援させていただくとともに、大学と父母相互の協力関係を築き、学生の成長はもちろんのこと、大学の発展にも寄与してまいりたいと思います。

最後になりましたが、今後とも父母会へのご協力を賜りますようお願いするとともに、会員皆様のなご一層のご健勝を心からお祈り申し上げまして、ごあいさつに代えさせていただきます。

金城学院大学 学長 小室 尚子

父母会会員の皆様には、学生への奨学金や課外活動、また教員の研究活動への助成など、本学の教育や研究に多大なご支援をいただき、深く御礼申し上げます。

さらには、2022年度卒業記念品として、本部棟4階にキャリアカウンセリングルーム設備を寄贈していただきました。本学では、教育と研究に力を注ぐことは言うまでもありませんが、卒業後を視野に入れて、その学びを活かしたキャリアデザイン、キャリア開発など特徴あるカリキュラムを備えております。キャリアカウンセリングルームへの寄贈品は、学生が独自のキャリアを構築して行くうえで、願ってもない記念品となりました。心より感謝いたします。

大学の環境としましては、2021年度に完了した「KMP21(金城学院キャンパスマスタープラン)」に加え、2022年度4月にはキャンパス西側のW5棟および東側の旧校舍跡地の整備が完了し、すべてのキャンパスリニューアルを無事に終えることができました。

学生が快適に過ごす空間に、学修効率と効果を高める環境、そして「看護学」という新たな教育研究領域が加わり、6学部を擁する総合大学として新たなステップを踏み出しました。ひとつのキャンパスに文系と理系の学部が集う女子総合大学は、本学の強みです。研究領域の異なる学生間の出会いが様々な刺激をもたらし、新しいものを創出する可能性やチャレンジの機会も増えることでしょう。教員には他学部と積極的に交流していただくように働きかけており、互いの学部について知るための交流会をもっと積極的に行って行きたいと考えております。それらは必ずやキャリア形成のプラスになり、社会に貢献するための大きな力になると信じております。

これからも建学の精神「福音主義キリスト教に基づく、女性への全人教育」を堅持し、教育と研究の一層の発展を目指してまいります。父母会会員の皆様も、学生が幅広い視野を持って自発的に学修していけるよう、ご家庭で助言や対話を重ねていただけますと幸いに存じます。

表紙について

キャンパス西側
ステップガーデン

2016年3月のW3棟と同時に竣工したステップガーデン。高低差のあるW2棟、W3棟、W5棟をつなぐ動線として整備された日当たりの良い中庭です。また、学生食堂リリー・ウエスト(W3棟1階)にも面しており、キャンパスライフの憩いの場として、毎日多くの学生たちが行き交っています。実験動物記念碑も設置されており、「わたしは復活であり、命である(ヨハネによる福音書 11章25節)」と刻まれています。以前は旧W5号館の南側にあったものですが、2020年に現在の場所に移設しました。大学では毎年10月に、人類のために命を捧げたすべての動物たちについて、神に感謝を捧げる特別礼拝を行っています。

